

Covid-19 と文化およびクリエイティブ産業の復興

COVID-19 のパンデミックは世界の隅々に影響を与え、世界経済を不況に陥らせました。現在の健康危機は 2020 年に 1 兆ドルの負担をかける可能性があり(UNCTAD)、また、ある推定では 500 万から2500万の雇用が失われ、8600億ドルから3.4兆ドルの労働所得が損失される(ILO)と予測されています。

現在の健康危機は、世界のクリエイティブセクターに多大な影響を及ぼしています。パンデミックは創造的価値の連鎖全体 - 創造、制作、流通、アクセス - に影響を及ぼし、アーティストや文化の専門家の専門的、社会的、経済的地位を大幅に弱体化させました。この規模の緊急事態に対応するために必要なリソースが大抵不足している起業家や中小企業は特に脆弱です。業界の労働力の大部分を占めるフリーランサー、パートタイム、ギグワーカーは、クリエイティブセクターのための社会的保護メカニズムへのアクセスがなかったり、非常に限られています。

それでも、アートはレジリエント(弾力性がある)。多くのアーティストや文化の専門家は、多くの場合、デジタルツールを利用して活動を続け、人々とつながるために革新的、創造的なソリューションを想像してきました。音楽、歌、ダンスは移動制限や自宅隔離の中でも個人が自分自身を表現し、社会的なつながりを維持することを可能にします。この前例のない緊急事態は、回復力と社会的結束の構築において文化が中心的役割を果たすことを実証しました。

ロックダウンの出口戦略により物理的な距離を取る対策と互換性のあるアクティビティを徐々に再開できます。アーティスト、文化の専門家、公共文化施設、中小企業、協会、団体および政府は、COVID-19 パンデミックが依然として人間の健康に対する主要な脅威である状況で、クリエイティブセクターの回復を反映する必要があります。したがって、既に再開された、または間もなく再開される文化的活動は社会的・経済的インパクトを及ぼす制約に対処する必要があります。他の活動、特に国際的な移動を必要とするものは、再開までに非常に長い時間がかかる可能性があります。したがって、多様で持続可能なダイナミックな文化生態系を維持するために、通常よりも高いレベルの公的支援とビジネスモデルの見直しを必要とします。

文化セクターの回復は、次のような世界的な大きな課題に直面しています:

- 各国間の不平等は、危機によって悪化する可能性が高い。パンデミック前より脆弱である発展途上国は、取り組みは主に国家レベルに集中している状況に対処するため、国際的な文化協力を求めている。
- 国内的に、状況は文化的生態系の最も弱い部分を脅かしています。不平等が増大し、女性、先住民族やマイノリティに属している人々に影響を与える重大なリスクがあります。

- ・ デジタル環境への移行が加速している一方で、文化政策はしばしば急速な技術開発に適合していません。大規模な多国籍企業は資金調達、発見可能性、著作権保護の点で文化的生態系に貢献することなく市場を独占しています。
- ・ 世界が革新の差し迫った必要性に直面している時、国・地域間のデジタル格差がさらに顕著になる可能性があります。危機はデジタル環境への移行を促進しますが、必要なシステムとプラットフォームの開発には科学的、技術的、経済的リソースが必要で、それらは不平等に分配されています。

ResiliArt とは？

ResiliArt は UNESCO と CISAC によって主導された世界的な運動で、現在の封じ込め政策が文化セクターに及ぼす広範囲なインパクトに対する認識を高めるため、主要産業の専門家とアーティスト-著名と新進-によって行われる一連のバーチャル討論会

UNESCO が ResiliArt 運動を立ち上げたのは：

- ・ 文化セクターと文化の専門家の生計に COVID-19 が及ぼす影響に対する認識を高めるため
- ・ 世界中のアーティストとクリエイター -著名および新進- を可視化し、既存のギャップとニーズに対処するため彼らの声が政策レベルに届くことを確実にするため
- ・ 加盟国のアーティストを力づける目的の政策と経済メカニズム開発の意思決定プロセスに貢献するため

ResiliArt 運動は、個々のアーティストの経験とレジリエンス(回復力)の声を共有しながら、クリエイティブセクターの状況に関するハイレベルなグローバルディスカッションを振興します。この運動から浮かび上がる主要な課題と懸念は、UNESCO 加盟国と UNESCO の創造都市ネットワークを通じて都市の意思決定者と共有され、彼らの意思決定プロセスに情報を提供し、危機とその後にクリエイティブセクターをよりよくサポートするのに役立ちます。

IFCCD と CISAC のパートナーシップによる ResiliArt デイバート

この ResiliArt デイバートでは、クリエイターとクリエイティブセクターのリーダー達が、クリエイターと文化機関およびその聴衆・観客との関係を維持するという課題について話し合います。彼らはまた、アーティストや文化の専門家を保護する目的で、集団的な創造的プロジェクトを再開する方法にも取り組みます。議論はまた、危機が既存の不平等を強調し、文化企業と多様な文化表現へのアクセスをさらに弱体化させている国々がクリエイティブセクターを振興するのを助けることができる方法にも取り組みます。彼らはまた、政策立案者、民間

企業、組織、公共機関が適切なポリシーと経済メカニズムを開発するのに役立つ提言を共有します。

参加者

ディベートは UNESCO の Assistant Director-General for Culture である Ernesto Ottone の司会で進行します。

参加者は様々な地理的地域とレパトリーを代表しています:

Pascal Rogard, Director General of the Society of Dramatic Authors and Composers (France)

Anitta, singer, songwriter and actress (Brazil)

Fouzia Saeed, Director General of the National Arts Council of Pakistan

Cheick Oumar Sissoko, Secretary-General of the Pan-African Federation of Filmmakers

Mohamed Saif Al-Afkham, President of the International Theatre Institute (Arab States)

Ferne Downey, President of the International Federation of Actors

テーマ

この ResiliArt ディベートは4つのテーマで構成されます:

- 1) 文化的専門家、クリエイター、アーティストが活動を再開する際に直面する制約と、それらをサポートするために講じられている措置
- 2) 特にデジタル環境において、文化的表現の多様性をサポート、促進するための対策とポリシーの採択
- 3) 新しい国際関係と文化協力の方法
- 4) 新しい形態の創造と文化的表現の持続可能性

すべての議論は、クリエイティブセクターにおけるレジリエンスの包括的な概念に基づき、文化産業の回復が直面する課題の理解を深めるのに役立ちます。

- ・ 持続可能な文化生態系をサポートするために、どのような構造的改革が優先されるべきでしょうか？
- ・ この危機は、文化セクターにおける様々なプレイヤーの役割をどのように再定義しますか？
- ・ 移動が制限されている状況で、国際的なコラボレーションをどのように再考することができますか？
- ・ この危機の時期に浮かび上がった国境封鎖の流れに直面して、国際協力と連帯はどのように適応できるでしょうか？
- ・ どのような興味深い、革新的な芸術的イニシアチブが出現しており、どのような落とし穴を避ける必要がありますか？
- ・ 文化的専門家、文化的企業、独立した(組織に属さない)アーティストたちが非常に不安定な状況の中で仕事に戻るのを支援するためにどのような措置がとられるべきですか？

フォーマット

ディベートは5月14日午後2時から午後4時(パリ時間)(注:日本時間 午後9時~11時)に行われます。2ラウンドの質問の後、一般の人々は Q&A セッション中にパネリストに質問する機会があります。

パネリストは司会に導かれます。彼らは会話に参加し、他のスピーカーの応答に受け答えしながら、それぞれに調整された質問に答えます。

ディベートは既存のオンラインプラットフォームで行われ、無制限の数の聴衆が議論をフォローしたりチャット機能を使って質問を投稿したりできます。

ディベートへの参加方法

<http://unesco.org/resiliart-debate> から参加できます。このリンクは 2020 年 5 月 14 日に稼働します。

フォローアップ

COVID-19 によってもたらされる物理的な脅威は鎮静化しますが、文化のバリューチェーン(価値連鎖)にもたらされる惨状はこの先何カ月も続きます。したがって、これらの会話、データ共有、および取り組みがパンデミック終了後も長期に続くことが業界の回復にとって不可欠です。

UNESCO はパートナーやステークホルダー(利害関係者)が独自の ResiliArt ディベートを企画し、メディア資産とガイドラインを共有することでこの運動に参加できるようにします。

運動への参加方法の詳細については <http://unesco.org/resiliart-debate> にある ResiliArt 運動ガイドを参照してください。

ご質問・お問合せは UNESCO まで: resiliart@unesco.org

CISAC に関する情報は: communications@cisac.org または www.cisac.org をご覧ください